

# 教育委員会に関する事務の管理 及び執行状況の点検及び評価報告書

(令和3年度実績)

## —目 次—

I	はじめに	……	1
II	教育委員会の点検及び評価の実施方針	……	3
III	教育委員会会議等の点検及び評価	……	6
IV	基本目標及び事業の点検及び評価	……	10
V	教育費の決算	……	42
VI	学識経験者の意見（総評）	……	43

令和4年9月

土岐市教育委員会

# I はじめに

## (1) 点検及び評価について

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務を執行するものです。

このため、土岐市教育委員会では、事前に教育委員会が立てた基本方針に沿って具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックすることなど、その活動を充実するように努めてきました。

こうした中、平成19年6月に公布された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成19年法律第97号）において、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務づけられました。

また、この点検及び評価に関することは、教育に関する事務の管理及び執行の基本方針に関することと同様に、教育長に委任することができないこととされました。

### 根拠法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）  
第26条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するととともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

このことを受けて、土岐市教育委員会では、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を「教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書」としてとりまとめ、住民の代表である議会に提出し、公表することにより、市民への説明責任を果たそうとするものであります。

## (2) 点検及び評価の基本的事項

- 教育委員会は、毎年、教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ点検及び評価を行うこととし、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことが法律で規定されました。

土岐市教育委員会では、令和4年度に令和3年度の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果を報告書としてとりまとめ市議会に提出し、教育委員会ホームページで公表を行います。

- どのような方法で点検及び評価を行うか、また報告書の様式、議会への提出方法などについては、国が基準を定めるのではなく、各教育委員会が実情を踏まえて決定することになります。

土岐市教育委員会では、平成22年度までは、第五次土岐市総合計画をベースに、平成23年度（平成22年度実績）からは、平成22年に策定した土岐市教育振興基本計画「夢・絆プラン」をベースに点検及び評価を行ってきました。令和3年度からは、令和2年度に策定した第2次教育振興基本計画を基に点検及び評価を行います。

- 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、点検及び評価の客観性を確保するためのものです。活用の仕方については、評価の方法や結果について、教育に関し学識経験を有する者の意見を頂く機会を設けることなどが考えられます。このことについては、各教育委員会の創意工夫により対応することになります。

土岐市教育委員会では、土岐市教育委員会の点検及び評価に関する有識者設置要綱（平成21年土岐市教育委員会告示第1号）に基づき、教育に関し学識経験を有する者の中から有識者（2人以内）を委嘱し、意見を頂くことにしています。

## Ⅱ 教育委員会の点検及び評価の実施方針

### 1 趣 旨

- ・土岐市教育委員会は毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
- ・点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

### 2 実施方法

- (1) 第2次土岐市教育振興基本計画「夢・絆プラン」をベースに、「第2章 基本計画」を対象とした点検及び評価を行う。

#### 土岐市教育委員会の基本計画

【学び合い】社会を切り拓いていく資質・能力を育成する	
1-1	確かな学力の育成
1-2	多様な学びを支援する教育の充実
1-3	豊かで健やかな児童生徒の育成
1-4	教職員の資質・能力の向上
1-5	安全・安心な教育と体制の整備・充実
1-6	幼保特別支援の推進
1-7	就学前教育の充実
1-8	幼保一体型施設の適正配置
【支え合い】家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる	
2-1	家庭教育を学ぶ機会の充実
2-2	学びと交流を深めるPTA活動への支援の充実
2-3	青少年の健全育成の推進
2-4	児童の安全・安心な居場所となる放課後教室の充実
2-5	公民館等を活用した生涯学習の推進
2-6	地域の教育力の向上と絆づくりの推進
2-7	図書館を活用した生涯学習の充実

【いきがい】ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる	
3-1	文化芸術活動の支援
3-2	文化財の保存・活用の推進
3-3	郷土の歴史・文化の継承
3-4	スポーツ活動の機会の充実
3-5	スポーツ団体の育成・活動支援
3-6	スポーツ施設の適切な整備と運営

#### 評価の目安

評価指標	評価内容
A	達成している
B	概ね達成している
C	あまり達成しているとはいえない
D	達成していない
—	評価なし (コロナウイルス感染症拡大防止等により事業中止等)

#### 令和3年度の実績

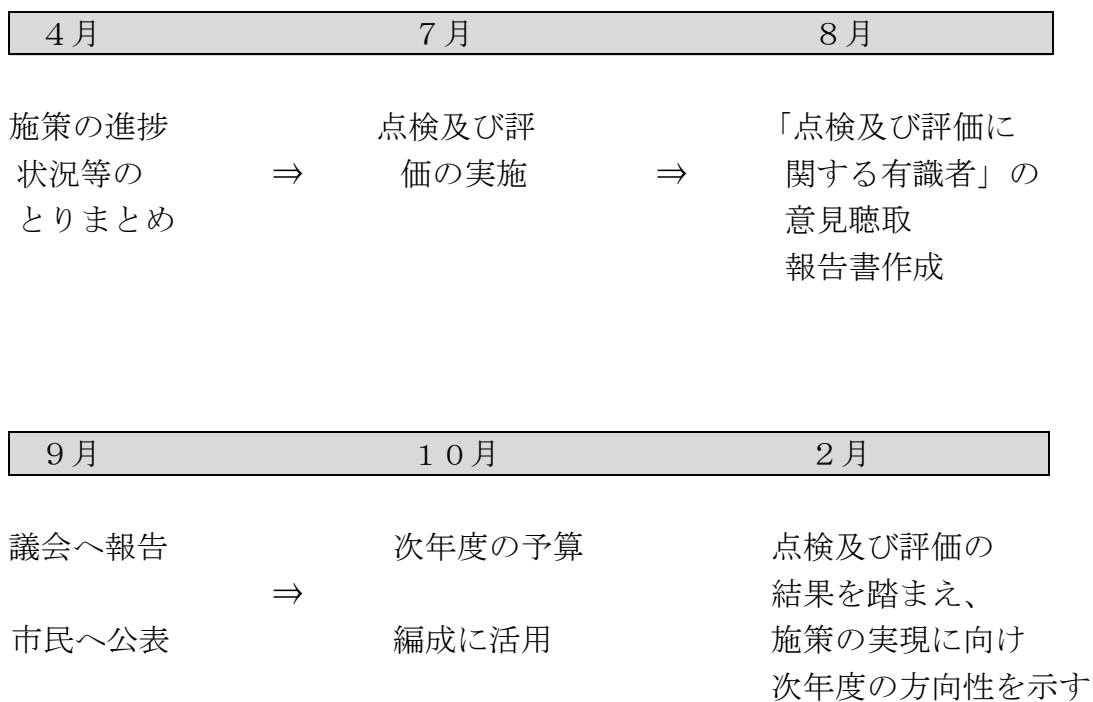
施策実現のために実施した事業などの実績等を示す。

#### 課題と今後の取組み

令和3年度の実績等から見えてきた施策実現に向けた課題と、それを解決するための今後の取組みを示す。

- (2) 点検及び評価は、前年度の施策・事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取り組みの方向性を示すものとし、毎年1回実施する。
- (3) 施策・事業の進捗状況等を取りまとめ、学識経験者の意見を頂き、教育委員会において点検及び評価を行う。
- (4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「土岐市教育委員会の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）」を置く。
  - ①有識者は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。
  - ②有識者の任期は2年とする。
- (5) 教育委員会において、点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を土岐市議会へ提出する。また報告書は公表するものとする。

### 3 点検及び評価の流れ



### Ⅲ 教育委員会会議等の点検及び評価（令和3年度）

区 分	実 績	成 果 ・ 課 題
教育委員会 会議の実施 状況	開催回数：定例会議 12回 臨時会議 1回  審議件数：議 案 34件 (内 専決報告 10件) 可決した議案 34件 報 告 11件 その他教育長報告 12回	<成果> 定例会においては、教育委員会の歳入歳出予算、条例・規則等の例規、人事案件等の議事案件（次頁）について慎重審議し、円滑で適正な教育行政の運営ができた。 <課題> 月1回の定例会は、議案については十分な審議が実施できるが、緊急を要する案件に対しては情報共有に時間差を生じさせる可能性がある。
活動の状況 等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問（教育長訪問に同行、随時訪問）</li> <li>・教育関係のイベント式典の参加</li> <li>・市町村教育委員会連合会研究総会に参加</li> <li>・市内教育施設の現場確認</li> </ul>	<成果> 先進的な取り組みをしている学校や教育施設などの教育現場に赴き、担当者の生の話や実態を直接見聞きすることにより、より具体的な実態把握や意見交換、意思疎通が図られ、今後更に推進していくことと改善を要することが明確になった。  <課題> コロナウイルス感染症の収束が見込めない中でも、継続的に教育現場や先進地の視察、研修参加等の検討を行い、本市の教育行政の課題や改善点をより明確にする必要がある。

## 令和3年度土岐市教育委員会提出議案等について

委員会回数	議決年月日	議案番号	提出議案
第4回定例会	4月23日	議第26号 専第3号 報第5号	土岐市文化財保存活用拠点（仮称）基本構想検討委員会設置要綱について 専決処分の報告及び承認について 土岐市ICT教育企画委員会設置要綱について 土岐市会計年度任用職員の任用、学校運営協議会委員等の委嘱等について
第5回定例会	5月19日	議第27号 報第6号	令和3年度教科用図書東濃採択地区協議会の設置について 土岐市教育振興基本計画推進・点検委員会委員の委嘱等について
第6回定例会	6月23日	議第28号 専第4号 議第29号 専第5号 議第30号 専第6号 報第7号	専決処分の報告及び承認について 令和3年度土岐市一般会計補正予算のうち教育費に係る予算について 専決処分の報告及び承認について 市職員の人事異動について 専決処分の報告及び承認について 市職員の人事異動について 土岐市会計年度任用職員の任用、文化財保存活用拠点（仮称）整備事業基本構想検討委員会委員の委嘱について
第7回定例会	7月30日	議第31号 議第32号 専第7号 報第8号	令和4年度使用小・中学校用教科用図書の採択について 専決処分の報告及び承認について 市職員の人事異動について 土岐市会計年度任用職員の任用について
第8回定例会	8月20日	議第33号 議第34号 報第9号	令和3年度土岐市一般会計補正予算のうち教育費に係る予算について 土岐市図書館設置条例の一部を改正する条例について 土岐市会計年度任用職員の任用について
第9回定例会	9月22日	議第35号 議第36号	給食費の改定について（諮問） 教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について



第10回定例会	10月28日	議第37号 議第38号 専第8号 報第10号	給食費の改定について 専決処分の報告及び承認について 土岐市図書館運営規則の一部を改正する規則について 土岐市会計年度任用職員の任用について
第11回定例会	11月19日	議第39号 報第11号	土岐市放課後教室条例について 土岐市会計年度任用職員の任用について
第12回定例会	12月22日	議第40号 議第41号 議第42号 議第43号 議第44号 専第9号 報第12号	土岐市歴史民俗資料館管理規則の一部を改正する規則 土岐市図書館障がい者郵送貸出サービス実施要綱 土岐市通学路における防犯カメラの設置及び運用規程について 学期制に係る変更について 令和3年度土岐市一般会計補正予算(第12号)のうち教育費に係る予算について 土岐市会計年度任用職員の任用について
第1回定例会	1月21日	議第1号 議第2号 議第3号 議第4号 報第1号	令和3年度二宮文化賞の授与について 土岐市外国語指導助手任用規則について 土岐市放課後教室条例施行規則について 土岐市放課後教室実施要綱を廃止する告示について 令和3年度土岐市教育文化賞の授与について
第2回定例会	2月24日	議第5号 議第6号 議第7号 議第8号 議第9号 専第1号 議第10号 専第2号 議第11号 専第3号 報第2号	土岐市学校運営協議会設置規則 土岐市立小中学校管理規則の一部を改正する規則について 土岐市学校運営協議会設置要綱を廃止する告示について 土岐市日本語指導教室要綱について 専決処分の報告及び承認について 令和3年度土岐市一般会計補正予算(第15号)のうち教育費に係る予算について 専決処分の報告及び承認について 令和4年度土岐市一般会計予算のうち教育費に係る予算について 専決処分の報告及び承認について 令和3年度土岐市一般会計補正予算(第16号)のうち教育費に係る予算について 土岐市会計年度任用職員の任用について

第1回臨時会	3月8日	議第12号	県費負担教職員の人事異動内申について
第3回定例会	3月18日	議第13号	土岐市立幼稚園園則の一部を改正する規則について
		議第14号	土岐市文化財保存活用拠点（仮称）基本計画検討委員会設置要綱について
		報第3号	令和4年度土岐市学校教育の方針と重点について

## IV 基本目標及び事業の点検及び評価

### 基本目標1【学び合い】

#### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-1 確かな学力の育成

具体施策	◆「土岐市幼稚園・こども園、小・中学校教育の方針と重点」の具現	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と中学校とが中学校卒業時の願う姿を共有し、小中間の児童生徒・職員の交流や教育情報の相互理解、交流によって9か年を通してきめ細かな指導を行います。</li> <li>・保育園・幼稚園・こども園と小学校との交流による相互理解と連携を通して、小学校への円滑な接続と発達段階に応じたきめ細かな指導を行います。</li> <li>・学校訪問(教育長訪問・研究所訪問・推進訪問への同行)を実施します。各学校や各園の研究や実践に対して指導・助言を行い、研究や実践の質を高めます。</li> <li>・土岐市研究指定校(園)を指定し、今日的課題に対して先進的に研究実践を重ねて、その成果を広く小・中学校に広めます。特に、「小学校外国語教育」については、グローバル社会に対応する力を身に付けることができるよう、ALT(外国語指導助手)の活用の充実を図り、コミュニケーション能力や他国の文化を理解して多文化共生社会に対応できる力を養います。また、ICT機器を積極的に活用したプログラミング教育を推進しながら、児童生徒の情報活用能力を向上させます。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市研究推進指定園学校に指定証を交付し、附属幼稚園や小中学校への教育長訪問等を通して、取組状況を把握し、指導助言を行った。更に市教委ミニ訪問を追加実施し、全ての小中学校を2回以上視察し学校課題の進捗を確認した。</li> <li>・感染症拡大防止の対策を講じて、西陵中学校区の指定校発表会を行った。感染状況の悪化から中間報告会を計画していた4校は中止とし、別途報告会の代替の場を計画した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各訪問を通して「土岐市教育の方針と重点」を踏まえた指導・助言を実施し各園・校の研究推進を図る。</li> <li>・保幼小の連携を通しスムーズな移行を図る。</li> <li>・中学校の連携に関わり、市内中学校が連携して今日的課題を解決していく指定校による体制構築を図る。</li> <li>・年度末に「土岐市の方針と重点」の具現状況を評価し、次年度の取組を見直す。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆基礎・基本の確実な定着	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校において、各教科の基礎・基本を定着していくための時間を設け、繰り返し学習をしたり授業の補充を行ったりしながら、確実な定着をめざします。</li> <li>・「土岐市スタンダード授業」を確立し、基礎・基本が確実に定着できるよう授業改善に取り組みます。</li> <li>・土岐市版「家庭学習の手引き小学校版・中学校版」の活用によって、家庭学習を充実します。</li> <li>・「きめ細かな学校支援事業」により、支援を要する児童生徒への支援を充実します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進委員会を中心に、教職員の実践的指導力の向上をねらい、土岐市スタンダード授業を踏まえた授業改善を行った。</li> <li>・各小中学校でNRT(学習指導要領に準拠した標準学力検査)を実施し、学力の経年傾向を分析し授業改善を図った。</li> <li>・学習支援員を適切に配置し、児童生徒の学習を支援した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式における授業を通して確実な学力の定着が図られるよう、学力向上推進委員会を通して市内小中学校に働きかけ、授業改善の推進を図る。</li> <li>・タブレット型端末の効果的な利活用を推進し、授業改善や支援を要する児童生徒の支援、及び家庭学習の充実を図る。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-2 多様な学びを支援する教育の充実

具体施策	◆キャリア教育の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢や希望をもって努力し続ける大切さを学ぶことができるように、引き続き「夢の教室」を実施します。</li> <li>・勤労観や職業観を育む日常活動や体験活動を充実させます。</li> <li>・「児童生徒能力開花応援事業」によって、興味・関心のある専門的な分野の知識や技能を学び、自らの可能性を広げます。</li> <li>・「中学校キャリア教育推進事業」によって、自分の生き方や職業観を見つめ直す機会をもちます。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度中止をした「夢の教室(小学5年生)」について、今年度は対象学年を小学校5年生及び6年生と増やし、オンラインで実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は従来通り、小学校5年生を対象とした「夢の教室」を実施する。感染症拡大の状況に応じて、オンラインによる実施を検討する。</li> <li>・「児童生徒能力開花応援事業」の各講座は、感染症拡大対策を講じた集合型の講座、もしくはオンラインによる実施を計画する。</li> </ul>		
担当課	教育総務課・教育研究所		

具体施策	◆特別支援教育の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の児童生徒のニーズに応じた支援体制を整えます。</li> <li>・個別の支援計画を作成し、関係諸機関との連携を図った教育を進めます。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある子ども一人一人のニーズに対応した支援を効果的に実施するため「個別の指導計画、個別の教育支援計画」を作成し、特別支援教育の充実を図った。</li> <li>・特別な支援を要する子どもたちの背景には、家庭環境の課題があるため、教育相談アドバイザーが福祉等の関係機関との連携を図り、教育支援を行った。</li> <li>・「きめ細かな学校支援事業」として発達障がいの児童生徒に対しての支援員の配置をし、個にあった支援を行った。</li> <li>・教育支援委員会は、予定通り年2回の実施をした。</li> <li>・コロナ禍の中で、時期を変更したり、資料配付などに代えたりして、特別支援教育連携協議会、特別支援コーディネーター研修会を各2回実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体との連携が図られてきており、支援体制が充実してきている。</li> <li>・一人一人のニーズに応じた教育の実現に向け、幼児期から就業までを見据えて、学校と保護者、関係機関が連携を密にするよう、さらに努める。</li> <li>・就学前からの一貫した特別支援教育の取組とともに、相談窓口の周知方法や一本化について、方法を検討していく。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

具体施策	◆外国人児童生徒教育の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市外国人児童生徒学校適応支援事業」によって、日本語指導と生活習慣の確立を支援できるように、外国人児童生徒が多数在籍する学校に支援員を派遣します。</li> <li>・初期指導教室を整備するとともに、支援員への指導・助言を行う外国人児童生徒コーディネーターを配置し、学校生活への適応指導や日本語指導などの就学支援を充実させていきます。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市外国人児童生徒学校適応支援事業」によって、日本語指導と生活習慣の確立を支援できるように、外国人児童生徒の支援が必要な学校へ支援員を派遣した。支援員を派遣したことで個別指導がより確かになり、児童生徒一人一人に着実に力をつけることができた。</li> <li>・初期指導教室を整備するとともに、外国人児童生徒コーディネーターを配置し、月毎に各学校を訪問することを通して、学校の実態を把握し、課題について解決できるように指導、助言を行った。これによって、教育委員会と学校との連携が深まった。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期指導における事前準備および学習指導の在り方などをより充実させていく。そのためにも市教育委員会と各学校との連携を強化していく必要がある。</li> <li>・外国人児童生徒指導に関する、教職員の資質向上のため研修の充実を図る。</li> <li>・個別最適化の観点から、外国人児童生徒に対する支援として、タブレット端末の効果的な利活用を推進する。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとすることができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-3 豊かで健やかな児童生徒の育成

具体施策	◆人権教育の推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・こども園、小・中学校における「ひびきあい活動」の取組を充実します。</li> <li>・人権教育に関わる教職員の研修を充実します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼稚園、こども園及び小・中学校において、人権教育における行動力の育成を目指し、「ひびきあいの日」に関わる継続的な取組みを実施した。また、すべての園及び学校から実践の記録や成果をまとめた報告書を製本し、発行した。</li> <li>・人権教育主任研修会について、感染症拡大防止の観点から、資料による代替研修を実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼稚園、こども園、及び小中学校において、人権教育における行動力の育成をめざし、「ひびきあいの日」の継続的な取組みが実施されるよう働きかけていく。また、ひびきあいの日の実践報告による審査において、受賞した学校の功績を市内園及び学校に広め啓発を図る。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆道徳教育の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の授業の充実を図るとともに、学校で行うすべての教育活動によって道徳性を育みます。</li> <li>・道徳教育、道徳科の授業に関わる教職員の研修を充実します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、感染症拡大防止の観点から中止としていた西陵中学校区、及び肥田中学校区の道徳教育計画訪問を本年度計画校に加えて実施した。</li> <li>・道徳教育の指導力向上を目指し、道徳教育推進教師に向けた専門的な大学講師による研修を実施した。</li> <li>・望ましい人間関係を築く力が向上できるよう、各学校において道徳科の授業の充実や「1家庭1ボランティア」</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳計画訪問においては、授業の指導実践に加え、年間指導計画や他教科との横断的連携について見届け「中学校区で育む資質の共有」に基づく実践の成果を市内に広げていく。</li> <li>・「1家庭1ボランティア」の活動をはじめ、具体的な体験を通して豊かな心を育むことに関わり、地域ぐるみの道徳教育の推進を図る。</li> <li>・道徳教育の指導力向上を目指し、道徳教育推進教師及び次年度道徳計画訪問開催校の教職員に対して、専門的な大学講師による研修を計画する。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆学校図書館の充実	評価	B
項目	・本に親しみ、読書を通して豊かな心を育むために、学校図書館の環境を整えます。図書館司書の配置等により、読書紹介や新刊の紹介、テーマに合わせたおすすめ本のコーナーの設置など、身近に本がある環境を整備し、本を手にする習慣が身に付くよう読書指導を充実させます。		
令和3年度の実績	・本年度は全ての学校に司書支援員を配置し、学校図書館の環境整備を進めた。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、図書本の貸出しにかかわる手続きを、すべての学校で電算化(バーコード化)した。		
課題(今後の方向)	・司書支援員を増員し、中学校区に1人ずつ配置ができるよう計画する。また、中学校区の小中学校間の連携を推進する。		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆体力づくりの充実	評価	B
項目	・体力テストの結果を生かして、学校の授業や休み時間等における指導を改善し、体力の向上をめざします。		
令和3年度の実績	・各校で体力テストを実施した。すべての運動的な活動を中止するのではなく、感染対策を講じて実施した。		
課題(今後の方向)	・直接的に体力の向上を図るのではなく、幼少期における運動に親しむ資質や能力を育成することを目的に、幼稚園や小学校における「遊び体育」の導入に向けて、ACP(アクティブチャイルドプログラム)にかかわる教職員向け講座研修を実施する。		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆健康教育の推進	評価	B
項目	・体位・健康の状況、内科・歯科検診の結果を生かして、心身ともに健康な体になるように、保健指導を充実させます。		
令和3年度の実績	・コロナ禍の中、検診などが延期したが、学校や関係機関と連携し、児童生徒および職員の健康診断を実施することができた。 ・学校生活の中における感染予防について、学校職員と共通理解を図り、校内における感染症拡大防止に努めることができた。また、相談体制を築くことでコロナ禍における心の不安をケアするように努めた。 ・個々の児童生徒の心身の健康問題の解決に向けて、自分の健康問題に気付き、理解と関心を深め、自ら積極的に解決していこうとする自主的、実践的な態度の育成が図れるように指導する。		
課題(今後の方向)	・教科等における保健学習や特別活動等における保健指導と関連を図って、健康教育をさらに充実させていく必要がある。 ・感染症予防に関する教育の推進を図る。		
担当課	教育総務課		



具体施策	◆食育の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の学習を生かして、児童生徒が考えた献立を給食で実施します。</li> <li>・給食に関わる人とのふれ合いを通して、食を大切にする力を育成します。</li> <li>・学校での様々な学びと食をつなげ、望ましい食生活を実践する力を育成します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食センター探検隊の開催(参加者55名)</li> <li>・給食時間の訪問に代わるものとして、栄養教諭の教室訪問の実施(141クラス)</li> <li>・担任及び教科担任と連携した食に関する指導の実施(71回)</li> <li>・家庭の食育マイスターの献立提出率は5%下がったが、90%以上の提出率であった。作成した献立を実際の給食で採用(1献立/校)</li> <li>・ふれあい給食の実施</li> <li>地元生産者の方々が小学校3年生の学級を訪問し、給食に提供している食材についての話をした。(7校)</li> <li>・中学校卒業記念品贈呈事業</li> <li>中学校3年生に、卒業記念品として美濃焼茶碗を贈呈し、3月に郷土料理と地元の食材を使用した給食を提供した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し行うことで、知識技能、実践力が育成されていくものと考え、今後も各事業を継続していく。</li> <li>・令和元年度、令和2年度より、課題事項としていた担任及び教科担任と連携した食に関する指導は、定着しつつあるため継続していく。</li> <li>・令和2年度に新型コロナウイルス感染対策により中止した指導やイベントを実施方法を変更することにより復活できた。</li> <li>・「GIFU食のマイスタープロジェクト」を活用することにより、栄養教諭を中核とした食育を行っていく。</li> <li>・中学校卒業記念品事業を継続していく。</li> </ul>		
担当課	給食センター		

具体施策	◆安全で確実なアレルギー対応食の提供	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全なアレルギー対応食を提供します。</li> <li>・教職員によるアレルギー対応を確実に実施します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<p>実施日数 給食実施日202日中、アレルギー対応食141日</p> <p>実施品目 卵68品、乳41品、落花生3品、ごま84品</p> <p>対象人数 56名</p>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤食等の事故が無いよう、引き続き安全確保を最優先としたアレルギー対応食を提供していく。</li> <li>・特定原材料7品目を含まない、ユニバーサルカレーライスを学期に1回実施する。</li> <li>・教職員による、アレルギー対応を確実に実施する。</li> </ul>		
担当課	給食センター		



## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-4 教職員の資質・能力の向上

具体施策	◆経験年数や職務に応じた研修、今日的課題に対応する研修の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「各種主任研修会(道徳・人権・図書等)」「サマーセミナー」を充実します。</li> <li>・指導力向上を図るために、「教職員パワーアップ講座」を開催し、今日的課題に応じた教員・講師研修を実施します。</li> <li>・「教育実践論文」「実践記録」を募集し、研究実践を奨励するとともに、優れた実践研究を顕彰します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「各種主任研修会(道徳・人権・図書等)」については、感染予防を講じて実施した。</li> <li>・夏季の「サマーセミナー」及び「教職員パワーアップ講座」については、参集型及びオンラインで実施した。</li> <li>・「教育実践論文」「実践記録」については例年通り募集し、研究実践の奨励・顕彰を行った。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種主任研修会及びサマーセミナーについては、感染症対策を講じて計画する。感染症拡大の状況に応じて、オンラインによる開催等を検討する。</li> <li>・教職員指導力向上にかかわっては、今日的課題を踏まえたテーマで研修内容を計画する。テーマに即し、専門性のある講師を招いた講話を企画し、教職員の指導力の向上を図る。</li> <li>・実践論文・実践記録については例年通り募集するが、集合型の表彰式については、感染症の拡大状況に応じて、分散型の表彰や、学校長による伝達表彰を検討する。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆授業や学級を組織していく力など、実践的指導力を高める研修の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進委員会にて「土岐市スタンダード授業」を作成して、指導改善の重点化を図り、OJT研修を充実させることで、一人一人の教師の指導力の向上と授業の質の向上を目指します。</li> <li>・大学をはじめ各関係諸機関との連携を図り、専門性を高める教員研修を開催します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進委員会において、土岐市スタンダード授業にかかわって、新しい生活様式における授業改善の市としての力点を検討し、「導入場面や課題提示の工夫改善」を重点に置き、市内全小中学校で実践した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の各校の実践を踏まえ、令和4年度の市の力点を示し、各小中学校で実践を進め、報告書に取りまとめる。</li> <li>・大学や高専と連携し、プログラミング教育やオンライン授業の推進を図る。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆広報活動の充実	評価	A
項目	・教職員に提供する教育・指導に関する情報を掲載している「教育とき」をさらに充実させます。		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、小中学校職員、教育関係機関に対して2か月に一度「教育とき」を配付してきた。</li> <li>・各校の教育実践や研究活動等を広く紹介することを通し、教職員の学びを促し、教育実践力を高める場となった。</li> <li>・土岐市の教育に関わる各界・各層との連携を強めることができた。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育ときは、「土岐市の方針と重点」の具現を目指し、教育実践力の向上を図るための情報や各種事業の成果、教職員の視野を広げ資質を高める情報をバランスよく掲載し提供する。</li> <li>・紙媒体による配付を一部取り止め、教職員のタブレット端末にカラー印刷データを配信する。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆働きやすい職場環境づくりの推進	評価	B
項目	・教職員の働き方についての意識を改革し、働きがいのある職場づくりを推進することを通して、子どもと向き合う時間を十分に確保できるよう管理職の学校経営に必要な資質・能力と教職員一人一人のタイムマネジメント能力の向上に努めます。		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校で管理職を中心に働き方改革を推進し、時間外在校等時間を月45時間以内、年間360時間内を目標として取り組んだ。退校時間を19時とし、退校時間を過ぎるときには、事前に申請を出すこととした。時間外在校等時間が月に45時間を超えた場合は、管理職との面談のもと事後検証を行った。職員一人一人が勤務時間を意識するようになり、時間外在校等時間が月45時間以上の職員の割合が小中学校ともに20%以下になった。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外在校等時間の目標時間(360時間)を超えている教職員が全体の6割程度(R2年度)いたため、さらに学校で業務改善を図る。また、個人への指導を継続的に行い、タイムマネジメント能力の向上を目指す。</li> <li>・教職員の負担を軽減するため、スクールサポートスタッフや学習指導員の効果的な活用を図る。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-5 安全・安心な教育と体制の整備・充実

具体施策	◆不登校の未然防止と迅速で組織的な対応	評価	B
項目	・土岐市不登校対策協議会を設置し、学校や「土岐市教育相談適応指導教室(浅野教室)」、関係諸機関との連携を図りながら、取組や対応を充実させます。		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校において、スクールカウンセラー等との連携を通して、支援方法の具体を職員間で共通理解し、組織的な対応を進めた。</li> <li>・不登校や不適応の兆候がみられる児童生徒や保護者に迅速に対応することで、未然防止や早期支援につなげることができた。</li> <li>・「教育相談適応指導教室(浅野教室)」を中心に、市や各校の担当者と連携を図ったりしながら、教育相談体制の充実を図ることができた。</li> <li>・悩みや不安を抱える児童生徒のため、市の教育相談窓口継続的に紹介した。相談があった児童生徒には、学校や他機関と連携して支援につなげることができた。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめや不登校対策としては、子どもと関わる関係諸機関と連携して、特に未然防止に取り組む。</li> <li>・各学校では魅力ある学校生活づくりと安心安全な児童生徒の居場所づくりを重点に進める。具体として、子ども一人一人の状況を丁寧に把握する定期調査の実施や、スクールカウンセラーや教育相談員の配置の充実、土岐市教育相談適応指導教室の活用等を通して、教育相談体制の充実を図る。</li> <li>・家に引きこもるなど欠席が長期化している児童生徒については、定期的なケース会議を開き、家庭への支援づくりを進める。</li> <li>・タブレット型端末を活用し、不登校児童生徒や不適応児童生徒に対する学習支援のあり方を検討していく。</li> </ul>		
担当課	教育研究所・教育総務課		

具体施策	◆いじめ等の問題行動の未然防止と早期発見・早期対応の徹底	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査やアンケート、面談等を通して、子どもが発信するサインを素早く把握し、情報の共有やケース会議の充実を図り、組織的に対応します。</li> <li>・土岐市いじめ問題対策連絡協議会を関係諸機関及び団体との連携を図りながら開催し、土岐市いじめ防止基本方針に基づいて取組や対応を充実させます。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法的根拠に基づく組織的な対応ができるよう、各校のいじめ防止基本方針の見直しと改善を図った。</li> <li>・いじめ事案について、学校で対応した報告を義務付け、適切な対応ができるよう指導、助言をした。</li> <li>・軽微な事案であっても確実な把握と早期対応ができるよう研修会を通して学校の対応を確認した。</li> <li>・いじめにかかわる児童生徒の相談機関の拡充を図るため、市の相談窓口を新規設置した。</li> <li>・心のアンケートや生活アンケートなど、早期発見に資する定期的な実態把握の機会を増やした。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的に早期の学校対応ができるよう職員研修を充実する。</li> <li>・多治見警察署、岐阜地方法務局多治見支局、弁護士等との連携強化を図る。</li> <li>・子どもと関わる関係諸機関と連携し、未然防止を図るための校内体制を構築する。</li> </ul>		
担当課	教育研究所・教育総務課		

具体施策	◆教育相談体制の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市教育相談適応指導教室(浅野教室)」を核として、各学校の教育相談コーディネーターを中心に、教育相談員、学校内適応指導教室相談員、スクールカウンセラー、スクール相談員が連携し、組織的な体制づくりを図ります。</li> <li>・教育相談員と教育相談コーディネーターの資質の向上と、校区内の情報交換や関係諸機関と連携を図ることができるように、「いじめ・不登校対策事業」を推進し、教育相談員研修会を充実させます。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーやスクール相談員と連携し、組織的な学校の対応ができる体制づくりを推進した。</li> <li>・浅野教室、生徒指導担当主幹教諭との懇談を定期的にもち、情報を共有した。</li> <li>・市の教育相談窓口について継続的に紹介した</li> <li>・全小中学校において、児童生徒がSOSの発信を促すための授業を実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーやスクール相談員、及び校内適応指導教室相談員との連携を強化し、悩みや不安をかかえる児童生徒の早期発見と組織的な支援を充実する。</li> <li>・生徒指導主事会を通して、教育相談体制に関わる連携の充実を図る。</li> </ul>		
担当課	教育研究所・教育総務課		

具体施策	◆学校施設の整備・充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の施設及び設備について、長寿命化を見据えながら経年劣化による老朽化を改修していきます。</li> <li>・タブレット等のICTを活用した教育を推進し、さらなる教育環境の充実を図ります。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下石小学校北舎PH外壁防水改修工事、土岐津小学校北舎1階・2階教室空調機器設置工事、土岐津中学校北舎屋上防水改修工事(Ⅱ期)、駄知・肥田中学校特別支援学級空調機器設置工事を実施した。</li> <li>・屋根・屋上、外壁について、劣化状況詳細調査を実施した。</li> <li>・iPad端末を学校授業での有効活用を図るため、授業支援ソフト「ロイロノート」を、全普通教室にプロジェクター又は大型テレビを導入した。また、安心して利用できるようWEBフィルタリングソフトを購入した。</li> <li>・土岐市ICT企画委員会、推進連絡会を年7回開催しICT利用について協議・調整をした。また、令和4年度版の教職員の指導の手引書を作成した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画で、劣化状況評価が「D:早急に対応する必要がある」となっているものを優先し、改修していく必要がある。</li> <li>・屋根・屋上、外壁の劣化状況詳細調査の結果を基に、屋根・屋上、外壁改修工事の営繕計画を立案する必要がある。</li> <li>・引き続き、市ICT企画委員会、連絡協議会を定期的開催し、教職員の研修、効果的な利活用、プログラミング教育等にかかわる協議・調整を図る。また、手引書の見直しを行う。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

具体施策	◆危機管理体制の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全を確保するために、「通学路交通安全プログラム」や「登下校防犯プラン」に基づいて、学校や保護者、地域、関係諸機関と連携した取組を推進します。</li> <li>・子どもが自然災害時に適切な判断をし、対処する力を身に付けるよう、「防災教育」を推進するとともに、災害の発生を想定し、子どもの安全を確保するための「安全管理」を充実させます。また、すべての学校で「危機管理マニュアル」の改善を図り、地域・家庭・学校などが組織的な防災訓練を行うなど、地域としての防災対策に取り組みます。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全を確保するために、「通学路交通安全プログラム」「登下校防犯プラン」に基づいて、学校や保護者、地域、関係諸機関と連携して行った。</li> <li>・市内小中学校において「危機管理マニュアル」の改善を図り、組織的な防災訓練を行うなどして防災対策に取り組んだ。</li> <li>・避難確保計画作成の対象となっている小中学校について、作成、点検が終了した。</li> <li>・通学路防犯カメラを土岐津中学校区、泉中学校区にそれぞれ3台設置した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携を密にし、各学校における「危機管理マニュアル」を核とした計画、実施、評価が一体となった防災対策を推進していくこと。</li> <li>・児童生徒が主体となって自らの安全や地域の安全について考え、行動できる力を培う安全教育を推進していくこと。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

具体施策	◆家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともにある学校づくりを推進するために、市内全小・中学校に学校運営協議会を設置(「コミュニティ・スクール」)します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全小・中学校に学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクール化を図った。年に2～3回の学校運営協議会を実施した。コロナ禍の中で学校を支援をする活動が増えた。</li> <li>・コミュニティ・スクールアドバイザー派遣事業を実施し、アドバイザーの助言をもとに、コミュニティ・スクールの推進した。</li> <li>・オンラインによる学校運営協議会実践交流会を実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実態に合わせた部会の設定や活動内容を検討する。</li> <li>・コミュニティ・スクールアドバイザー派遣を継続する。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		



## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-6 幼保特別支援の推進

具体施策	◆特別支援体制の整備	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援のための研修を幼稚園・こども園の全ての職員に対して実施します。</li> <li>・「保護者支援(ペアレント・トレーニング)」に向けた体制づくりのため、幼稚園・こども園に配置する特別支援コーディネーターの育成を進めます。</li> <li>・園職員、保護者、発達支援相談員、土岐市発達支援検討チームの連携を強化し、支援児に対する個別の指導計画及び教育支援計画に沿った支援を行います。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルス感染のため計画していた全職員に向けての研修が2つ中止となり、資料のみの配布になってしまったが、7月・10月の公開保育及び研修会は、支援コーディネーター12名程の参加で開催でき、個別の支援計画作りに役立つことができた。</li> <li>・子育て支援サークルの保護者の協力で子育ての話をする場ができ、ペアレントトレーニングの意味、効果を知ってもらうきっかけ作りとなった。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、支援コーディネーターの育成にかかる研修を計画的に実施していく。</li> <li>・ペアレントメンター(=良き助言者のことで、先輩の保護者が、新しく参加する保護者に対して、これまでの子育て経験を活かし、気持ちに寄り添い、共感し、地域の情報を提供したりするなど、同じ「親」という立場で応援する者。)を数多く作り、子育てに自信を持つ保護者を増やすため、幼児療育センターでペアレントトレーニングを開催していきたい。</li> </ul>		
担当課	子育て支援課		

具体施策	◆小学校との連携の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「CLM」を基にした指導計画を作成し、小学校担当者との連携を進めます。</li> <li>・発達支援相談員と小学校の教育相談コーディネーターとの双方向の訪問(巡回相談、教育相談)により連携を強化します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に園の巡回相談を、夏休み中に教育支援相談会を実施し、就学前の一貫した特別支援教育の推進ができた。</li> <li>・小学校の教育相談コーディネーターとの連携を強化するために、巡回相談、教育相談会以外にも幼稚園、小学校訪問の回数を増やし、子どもの様子を観察した。</li> <li>・就学にあたっての引き継ぎでは、CLMを基にした指導計画を話し合いの材料として活用した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人のニーズに応じた教育の実現に向け、幼児期から就業までを見据えて、学校と保護者、関係機関が連携を密にするよう、さらに努める。</li> <li>・小学校担当者がCLMについて知識が不足していることから、CLMの指導計画が引き継ぎ書として有効活用されていないことが多くある。継続して子どもを観ていくためにも、CLM研修に参加し理解を深めてもらう。</li> </ul>		
担当課	教育総務課・子育て支援課		

## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-7 就学前教育の充実

具体施策	◆幼児教育の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・幼稚園・こども園の「アプローチカリキュラム」に基づく保育を充実させます。</li><li>・園と小学校間において授業・研究会などの交流を図り、資質向上に資する研修を実施します。</li></ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・各園アプローチカリキュラムを作成して保育の充実を図った。また、副園長会、教務主任会でアプローチカリキュラムの見直しを実施した。</li><li>・地域によっては地区の中学校、小学校、幼稚園、保育園の長が集まって交流を図り、連携することができた。</li></ul>		
課題(今後の方向)	職員の資質向上のため、公開保育、研修会、講演会等の参加は必要であり、コロナ禍で計画通り開催できなかったところもあったことから、今後は安心、安全な研修実施の手法の検討が必要。		
担当課	子育て支援課		

## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-8 幼保一体型施設の適正配置

具体施策	◆こども園化の推進	評価	A
項目	・泉地区の市立いずみ保育園において幼稚園機能を追加し、幼保連携型こども園として建て替えを進めます。		
令和3年度の実績	令和5年度の泉こども園開園に向けて建設工事を着手し、隔週定例会議を行い工事の進捗管理を実施した。		
課題(今後の方向)	令和5年度より泉こども園として開園することを目指し、令和4年度中に泉こども園建設工事、旧園舎解体、外構整備工事を実施する。		
担当課	子育て支援課		



## 基本目標2【支え合い】

### 家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策	2-1 家庭教育を学ぶ機会の充実
------	------------------

具体施策	◆家庭教育・子育て支援の情報提供	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児までの子をもつ親を対象に、子どもの発達段階や子育てのポイントを学ぶことができる「あすなろ家庭通信」を発送し、ホームページに掲載します。</li> <li>・親や子育てを支援する人に向けた発達段階に応じた子育てのポイントをアドバイスする冊子「土岐市の家庭教育『子育て・親育ち特集』」(平成31年4月発行)を活用し、内容の見直しを図ります。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<p>あすなろ通信 1～3ヶ月、6ヶ月、1、2、3歳のお子さんを持つご家庭に、各月齢に応じたお子さんへの接し方のアドバイス情報を郵送にて提供するとともに、同じ情報を市HPでも提供していることもPRして、母親らの子育ての悩み解消や孤立防止を図っている。毎月70通ほど発送しており、就労などで乳幼児学級などに出られない母親や父親にも子育て情報を提供している。</p> <p>一方、コロナ禍において、様々な事業が中止となった事により、乳幼児学級を始めとする子育ての事業において「子育て・親育ち」の冊子の活用が十分に行うことが出来なかった。</p>		
課題(今後の方向)	<p>(課題)</p> <p>他部署においても、子育て関連の事業を行っており連携を図ることがより効果的である。</p> <p>〈今後の方向性〉</p> <p>今後も引き続き家庭教育・子育て支援の情報提供としてあすなろ通信を発行する。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆子育て講座の充実	評価	-
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児までの親子を対象に、年間を通して子育ての講話や交流、親子の絆を深める体験ができる「乳幼児学級『てくてく』」を実施します。</li> <li>・乳幼児期からの家庭教育の充実を図るために、父親、母親がともに学ぶ「子育て講座」を実施します。</li> <li>・幼稚園、小・中学校の家庭教育学級担当者に、研修や実践交流の機会を提供します。</li> <li>・小学生の親を対象に、子育ての役割や大切さを学ぶ「みんなの子育て講座」を実施します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<p>【乳幼児学級】「親が子育てについて学ぶ場」、「親の仲間づくりの場」の提供を目的に、「乳幼児学級てくてく」という名称で実施している。0～1歳をひよこ組、2～3歳をうさぎ組として、それぞれ4学級、計8学級に合計49組の申し込みがあった。新型コロナウイルス感染拡大を受けて中止にしたり、自主的に欠席される親子があったりし、予定通りの活動はできなかった。実施できた活動は音楽活動と体操で、子育て講座も予定していたが、新型コロナウイルスの影響により開催できなかった。</p> <p>【子育て講座】年度末に各小学校で行われる新小学1年生の保護者を対象とした説明会の場に外部講師を招いて、この時期に重要な子育てにまつわる講話を予定していたが、コロナ禍で時間短縮のため、中止になった。</p> <p>【家庭教育学級】幼稚園6園、小学校8校、中学校6校それぞれで開級している。それぞれの家庭教育学級を保護者が務める学級長が主催し、学びの場の提供、保護者同士の交流の場づくり、親子のふれあいの場づくりのための各種活動を年間を通じて行い、子育てを学ぶとともに親育ちも目指している。全体交流会も年度初と年度末に予定していたが、コロナ禍で資料交流のみとなった。</p> <p>【家庭教育担当者研修会】5月に予定されていた県主催の東濃地区家庭教育リーダー研修会は、新型コロナウイルスの影響で、市P連の実行委員会(各PTA会長が参加)と教頭会で、県の担当者からの伝達のみになった。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉</p> <p>子育て講座等の活動への父親の参加が少ない。</p> <p>〈今後の方向〉</p> <p>毎年好評を得ている乳幼児学級てくてくの開催や各種講座を継続しながら、父親が参加する機会を提供していく。</p> <p>コロナ禍であっても、情報交流の機会を設けることができるように家庭教育学級の開催方法を工夫していく。</p>		
担当課	生涯学習課		

## 基本目標2【支え合い】

### 家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策	2-2 学びと交流を深めるPTA活動への支援の充実
------	---------------------------

具体施策	◆土岐市PTA連合会の活動に対する支援	評価	-
項目	<p>・子育てや家庭教育に関する今日的課題について学ぶ研修会やワークショップ、また、各校のPTAの組織、運営、活動内容についての情報交流、意見交流の場を提供し、PTA活動の充実や課題の改善を図ります。</p> <p>・土岐市PTA連合会の運営体制や活動内容に対して助言や支援をします。</p>		
令和3年度の実績	<p>昨年度同様、新型コロナの影響でPTA活動の自粛により助言・支援が思うように実施できなかった面もあるが、役員会や実行委員会が開催できた際は、「参加してよかった」と感じてもらえるよう、情報提供や交流の時間をもつようにした。</p> <p>各小中学校では、毎年役員決めが難航している。各町の自治会でも同様に役員決めが難しかったり、後継者不足が課題になったりしている状況があることから、実行委員会でもちづくり推進課と意見交流の時間を設けることができた。</p> <p>家庭教育学級は、「レッツ コミュニケーション～やささと自信を育む“よいころみつけ”～」とし、2回の研修を予定していたが、11月の1回のみ実施。</p> <p>市が読書活動の推進に力を入れていることを受け、5月の市P連総会でアンドリュー・デュアー氏による講演会を企画した。新型コロナの影響で、総会は中止となったが、11月に市P連と合同で、家庭教育学級講演会として、父親への参加を呼びかけて実施した。</p> <p>演題:「現代の子どもが読書に関心を持つためには」 講師:アンドリュー・デュアー氏(東海学院大学教授兼図書館長)</p> <p>参加者:48名</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 PTA連合会役員の選出が困難となっている。</p> <p>〈今後の方向〉 PTA活動の大切さを周知すると共に、役員の負担の軽減を図る。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆幼稚園、小・中学校のPTA活動に対する支援の充実	評価	-
項目	<p>・幼稚園、小・中学校のPTA活動やPTA家庭教育学級に対して、活動内容や実施の仕方の指導・支援をします。(講師紹介・企画助言・補助金等)</p>		
令和3年度の実績	<p>新型コロナの影響でPTA活動の自粛により助言・支援が思うように実施できなかった。</p> <p>市P連及び各校の家庭教育学級への補助金事業は例年通り実施した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 PTA連合会役員の選出が困難となっている。</p> <p>〈今後の方向〉 PTA活動の大切さを周知すると共に、役員の負担の軽減を図る。 コミュニティスクールと地域学校協働活動の両方をうまく組織できるような働きかけをしていく。</p>		
担当課	生涯学習課		

## 基本目標2【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策	2-3 青少年の健全育成の推進
------	-----------------

具体施策	◆青少年の健全育成を推進する各団体の活動支援	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市青少年育成市民会議」の活動を推進し、各町青少年育成会の活動を高めます。</li> <li>・親子のふれあいや子どもの豊かな体験の場をつくる「土岐市子ども会連合会」の運営や活動の支援をします。</li> <li>・子ども会活動の遊びや活動を支援し異年齢の交流を深める「ジュニアリーダー」を育成します。</li> <li>・実行委員会の企画・運営による「成人式・二十歳(はたち)の集い(仮称)」を開催し、成人としての自覚と地域社会の中で夢を実現する決意、周囲への感謝の気持ちを育みます。</li> <li>・有害図書や有害玩具、携帯電話等取り扱っている店への立入調査を実施し、青少年の健全育成のための環境づくりに努めます。</li> <li>・少年センター指導員による声かけ活動を推進し、青少年の健全育成に努めます。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<p>【土岐市青少年市民会議総会】中止(青少年の主張大会は、中学生のみによりビデオ審査として、優秀者の表彰式のみ実施)</p> <p>【土岐市子ども会連合会活動】夏休み親子木工教室のみ実施した。</p> <p>【ジュニアリーダー研修会】新型コロナ感染防止のため、定例会の多くが中止となったが、春の研修会は4月に実施。例年、小学校のみへの募集チラシの配付を中学校へも実施した。</p> <p>【成人式】感染防止対策を徹底、内容を見直し時間短縮、来場者を新成人と式典であいさつしていただく来賓のみに限定して開催した。</p> <p>【有害図書等立ち入り調査】7月より奇数月に実施。1月は新型コロナ「まん延防」の対象地域に指定されたため、中止した。</p> <p>【少年センター声掛け活動】新型コロナの感染状況をみながら、できる範囲で実施した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 コロナ禍で活動がなかなかできないことで、役員等も活動経験者が少なくなってきたり、事務局主導になりつつある。</p> <p>〈今後の方向〉 それぞれの活動について、ねらい等も含めて見直し、青少年健全育成への意識を高める。 成人年齢の見直しにより、令和4年度より20歳を対象とし、式典名称を「土岐市二十歳を祝う会」として開催する。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆地域の各団体のネットワークの形成支援	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域や団体の連携をコーディネートし、地域活動を指導・助言する社会教育委員の研修や交流などの充実を図ります。</li> <li>・青少年育成に係る各種団体の情報や交流の機会を提供し、様々な啓発活動や行事に互いに協力し合えるネットワークづくりを推進します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<p>コロナ禍ではあったが、Zoomで研修会に参加するなど、おおむね予定通り開催できた。</p> <p>コロナ禍で市民会議は中止となったが、青少年育成会長会、青少年育成推進員研修会は実施できた。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 各地域や団体の連携が必要だという意識はあっても、多くの活動が中止になっていることもあり、そのコーディネートがうまくできていない。 コーディネーターを誰が担当のかが明確になっていない地域が多い。</p> <p>〈今後の方向〉 各種団体の連携や情報交流を支援する。 地域学校協働活動にかかわる研修会への参加を呼びかけ、コーディネーターとしての人材育成をする。</p>		
担当課	生涯学習課		

## 基本目標2【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策	2-4 児童の安全・安心な居場所となる放課後教室の充実
------	-----------------------------

具体施策	◆放課後教室の運営体制と環境の整備	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に安全・安心な活動場所を確保し、指導員・支援員を配置します。</li> <li>・学習活動や環境、児童・保護者の状況についての情報を交流し、協力し合うなど、小学校との連携を強化して、運営と指導の向上を図ります。</li> <li>・指導員の資質・指導力向上を目指した研修を実施します。</li> <li>・各教室の防災計画を作成し、命を守る訓練を実施します。</li> <li>・安全で衛生的な環境づくりのための定期的な点検と計画的な修繕を行います。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<p>感染症対策を徹底し学校との連携を密にしながら運営を行った。                      延長利用制度が開始されることも踏まえ放課後教室事業を条例化した。                      指導員研修は、密を避けながら県が主催するオンライン形式の研修に参加した。                      各教室のパソコンが老朽化していたため更新した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉                      来年度から延長利用制度が開始されるため、円滑に事業を運営する必要がある。                      〈今後の方向〉                      子どもの安心・安全な居場所づくりとして環境整備に努めると共に適正な人員配置に努める。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆異年齢交流や豊かな体験学習の場としての活動の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の異学年交流をはじめ、夏休みに高校生や大学生、地域の方々を臨時指導員として配置して、子どもが様々な人とふれ合い、活動や交流ができるようにします。</li> <li>・地域の人材や団体と連携して豊かな体験ができる「チャレンジデー」を実施します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<p>夏休みは、高校生、大学生、地域の方に臨時指導員として活躍していただいた。                      チャレンジデーについては、ほとんどの教室で開催を見合わせたが、下石教室において英語に触れ合う会を開催した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉                      コロナ禍に対応していくため、密を避けて実施できる「チャレンジデー」の模索が必要である。                      〈今後の方向〉                      各教室の特徴を出すチャレンジデー開催する。</p>		
担当課	生涯学習課		



## 基本目標2【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策	2-5 公民館等を活用した生涯学習の推進
------	----------------------

具体施策	◆生涯学習体制・指導者の充実	評価	-
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の公民館どうしのネットワークを生かし、情報や実践を交流して活動の連携や充実を図ります。</li> <li>・各公民館講座を通して、社会教育関係団体、指導者の育成を図ります。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<p>新型コロナの影響で休館措置や各種団体の活動の自粛もあり中止せざるを得ない行事が多数あったが、感染状況が落ち着いたところで開催できた行事もあった。          予定どおり主事会を開催し、研修や情報交換などを行うことが出来た。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉          コロナ禍において開催できなかった各町、各種団体の特徴的なイベントなどの活動に対する引継ぎができていない事から継続した開催ができなくなるのが危惧されている。</p> <p>〈今後の方向性〉          引き続き公民館を中心として、地域の団体の活動に対して支援を行っていく。          各公民館で行った講座について情報交換を行い、市民のニーズにあった講座を行うことによって、社会教育関係団体や指導者の育成につなげる。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆公民館講座・市民大学講座等の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域、各公民館の特色を生かした多様なジャンルの講座やイベントの充実を図ります。</li> <li>・市民のニーズを把握し、学びの場を提供します。</li> <li>・専門的知識を有する大学教授、研究者等による「市民大学講座」を実施し、市民の学習の機会を提供します。</li> <li>・高齢者大学「はなの木大学」の運営や講座に対する助言・支援を行い、高齢者のいきがいづくりの場の充実を図ります。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<p>公民館主催の講座においても、新型コロナの影響で中止した講座もあったが、市民のニーズに合った多様なジャンルの講座を実施できた。          市民大学講座は、ソーシャルディスタンスを確保するため、定員を減らし計画通り4回開催することができた。          昨年度に引き続き、講座を録画しインターネットで配信した。          「広報とき」に、はなの木大学の活動の様子を掲載し、高齢者のいきがいづくりの場であることを紹介した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉          生涯学習指導者バンクの市民の活用が少ない。</p> <p>〈今後の方向性〉          公民館講座や講師などの情報を共有しながら各公民館で特色のある多種多様な講座を開催する。          コロナの影響もあり、はなの木大学の学生数が減少しているため、さらなる支援が必要である。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆安全・安心な公民館施設	評価	B
項目	・公民館施設の計画的な点検、整備を行います。		
令和3年度の実績	下石公民館の空調更新、鶴里公民館のフェンス設置工事など予算計上した工事は計画的に実施した。		
課題(今後の方向)	<課題> 老朽化による修繕箇所が増加している。また、突然の故障による緊急修繕も増加している。 施設の老朽化に伴い、長寿命化のため計画的な改修が必要だが、財政的課題等により計画どおりの改修が進まず先送りになっている。 <今後の方向> 引き続き利用者の安心・安全を第一とした改修、修繕を計画的に実施する。		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆地域の学びの場としての活用	評価	B
項目	・公民館に地域の学習室的機能をもたせ、長期休業中の児童生徒の学習室として活用します。 ・各公民館と市立図書館をつなぐ環境整備を進めることにより、本を身近に感じ、本を手取る機会を増やし、読書率の向上に努めます。		
令和3年度の実績	夏季休暇中に市内公民館を無料開放し、子ども達の学習の場として提供することができた。地域文庫の課題について推進室内で協議を開始した。		
課題(今後の方向)	<課題> 学習室機能を持たせることはできたが、活用促進を図る必要がある。 地域文庫は周知不足や魅力に欠けるなどから利用が少ない。 <今後の方向> 活用促進を検討しながら、引き続き長期休業中の学習室の開放を実施する。 「土岐市読書活動推進計画」に沿って、地域文庫の有効的な運営方法を探る。		
担当課	生涯学習課		

## 基本目標2【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策	2-6 地域の教育力の向上と絆づくりの推進
------	-----------------------

具体施策	◆「地域づくり型生涯学習」の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活動する団体の学びを生かし広める活動（「アウトリーチ活動」）を推進します。</li> <li>・公民館活動や地域の行事に参画することを通して、互いに「あてにし、あてにされる」つながりをつくり、地域への愛着が深まるまちづくりの活動を支援します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	妻木公民館で活動している「しろやま太極拳」が妻木小学校放課後教室へ出向き、太極拳について学ぶ場を子供たちに提供することができた。		
課題（今後の方向）	<課題> 自発的にアウトリーチ活動を行う団体が少ない。 <今後の方向性> 自身の学びを地域に還元する地域づくり型生涯学習活動を推進していく。		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆地域と学校との連携・協働による活動の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全小・中学校（校区）に学校運営協議会を設置（「コミュニティ・スクール」）するに伴い、地域と学校が連携・協働して子どもの成長を支援する活動を推進します。また、地域や学校、諸団体に対し、研修や情報交流の機会の提供を行います。</li> <li>・地域における中学生、高校生、大学生の活躍の場をつくり出し、ボランティアや地域活動への参画を推進します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	新型コロナの影響で地域行事の多くが中止になったことにより、地域でのボランティア活動の受け入れが出来なかった。 地域と学校の連携・協働に関わる人たちへの研修会参加を呼びかけ、推進への意識の向上に努めた。		
課題（今後の方向）	<課題> 学校と地域の間で願いや目指す姿を共有する意識が弱いため、どの地域も学校からの要請には協力的であるが、積極的に学校に関わることができていない地域がある。 <今後の方向性> 地域と学校が子どもたちを軸に願いや目指す姿を共有するための熟議の機会を設けられるよう、今後も地域と学校の連携・協働に対して支援を行う。		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆地域を支える組織・団体の活動支援	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活学校」、青年団体協議会、女性連絡協議会の活動に対する助言や支援をします。</li> <li>・市や各地域、他団体と連携した活動の機会をコーディネートし、アウトリーチ活動を推進します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<p>各団体に対して、補助金の交付や活動への助言を行った。</p> <p>「生活学校」は、コロナ禍でもできる活動として、廃食油回収や牛乳パックの回収を行った。</p> <p>「青年団体協議会」は、研修会の実施と成人式における受付業務や駐車場整理などの活動を行った。</p> <p>「女性連絡協議会」は、コロナ感染対策を徹底しながら、料理講習会を実施した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 各団体とも活動が縮小していく傾向が見られる中で、団体間で連携する活動をなかなか見い出せない。</p> <p>〈今後の方向〉 引き続き各団体への助言と支援を行う。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆地域における豊かな体験の場、学習機会の提供	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の文化や歴史、自然、産業などの財産や人材を生かし、将来を担う子どもに、豊かな体験を通してふるさと土岐市のよさを学ぶ「土岐ふるさと塾」を実施します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<p>3回の実施を計画していた「土岐ふるさと塾」を当初の計画通り濃南地区と妻木地区で2回開催することができた。</p> <p>9月に予定していた肥田地区での実施は、「緊急事態宣言」の延長により中止した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 参加者にとって能動的な体験活動になるような事業手法の検討。</p> <p>〈今後の方向〉 今後も引き続き開催し、地域へ愛着を持った人材育成へ繋げる。 作品作りなどの体験活動を取り入れることを検討する。</p>		
担当課	生涯学習課		



## 基本目標2【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策 2-7 図書館を活用した生涯学習の充実

具体施策	◆乳幼児から学童期、青年期に向けた読書活動の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市子ども読書活動推進計画(第二次)」を踏まえた新たな読書活動推進計画を策定し、家庭・地域・学校が連携して読書活動を推進し、子どもの読書率の向上を図ります。</li> <li>・未来を担う子どもの成長に欠かせない家庭での読書活動を推進するため、読み聞かせ会や読み聞かせ講座、「ブックスタート」などを充実させます。</li> <li>・継続的な支援や図書館利用の促進を図るため、3歳児健診時には、本にふれる機会を増やすための事業を実施します。</li> <li>・学校や地域との連携により、読書習慣を形成・定着化させるため、配本や読み聞かせ、「ブックトーク」などの拡大を図り、また、見学や職場体験の受入れなど、図書館を知る機会の創出を図ります。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市読書活動推進計画」に沿った事業展開(図書館改革プランの策定及び職員研修、電子図書館、郵送貸出サービス、青空読書会等)をすることができた。</li> <li>・市内小中学生を対象に「とき読書っこクラブ」を募集し、朗読会と子ども司書講座を実施した。子ども司書講座受講後に子ども司書として認定し、年末に図書館イベントのお手伝いをしてもらった。</li> <li>・コロナ禍により、毎週土曜日の読み聞かせは「非常事態宣言」や「まん延防止等重点措置の適用」により中止した時期もあった。0歳児向けの読み聞かせは密になるのを避けるため中止とした。「ブックスタート」は絵本と手提げ袋のプレゼントは行ったが、健診時の読み聞かせは通年で中止した。</li> <li>・「ブックスタート」の継続事業として、3歳6か月健診時に「ぶっくんノート」を配布し、本を1冊読んだらノートに記入し1ポイントとし、30ポイント貯まったら絵本をプレゼントという事業を行った。</li> <li>・図書館司書による絵本の出張読み聞かせを行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>濃南小9回、泉小2回</li> </ul> </li> <li>・図書の配本を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>土岐津小4回、下石小2回、妻木小3回、濃南小11回、駄知小6回、土岐津中1回、駄知幼稚園2回、放課後学級12回</li> </ul> </li> <li>・幼児期・学童期からの図書館利用の促進を図るため、例年多くの学校や幼稚園等の見学を受け入れ、今年度は土岐津小、濃南小、泉小、東濃特別支援学校小学部、土岐津幼稚園の受け入れを行った。職場体験は東濃フロンティア高校を受け入れた。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市読書活動推進計画」に沿って更なる事業展開を行っていく必要がある。</li> <li>・図書館改革プランに沿った改革を実施する必要がある。</li> <li>・とき読書っこクラブの朗読会や子ども司書講座を継続的にを行い、地域や学校での読書リーダーを育成する必要がある。</li> <li>・小中学生対象の活動を活発化させ、そうした活動を学校や地域に繋げて行く取り組みを行う必要がある。</li> </ul>		
担当課	図書館		

具体施策	◆図書館サービスの充実による図書館利用の促進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化する市民のニーズに対応できるよう図書資料の充実を図ります。また、図書館や本に親しむ第一歩として、多くの市民に来館いただけるようイベントや各種講座、情報提供の充実を図ります。</li> <li>・施設、書架等の整備を適切に実施し、よりよい読書環境を提供します。</li> <li>・ボランティア活動の支援や地域文庫の充実など、市民や地域と連携したサービスを提供します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書資料は定期的に書架の入替を行い充実を図ることができた。</li> <li>・読書に親しむためのきっかけ作りとして、図書館の蔵書で役目をおえた本のリサイクル市を図書館隣の公園で開催し、多くの市民に来ていただけ、図書館の利用の促進につなげることができた。</li> <li>・当初予定していた講座・イベントについては、コロナ禍により、多くは中止したが、できる範囲で実施することができた。</li> <li>・施設の長寿命化計画により、非常用照明等の改修を行った。</li> <li>・読み聞かせや修理等のボランティア活動の支援を行い、地域文庫は定期的に図書の入替を行った。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル市、浴衣、おもしろ本大賞、福袋等の開催により、図書館の来館者や貸出が伸び、イベントは有効であると考えられるので今後も引き続き実施する。また、今年度は実施できなかった講座やイベントはコロナ禍の状況にもよるが積極的に行う必要がある。</li> <li>・施設は築43年が経過し、改修の必要な箇所が多くあるが、計画的に行っていく必要がある。</li> </ul>		
担当課	図書館		

## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

#### 基本施策 3-1 文化芸術活動の提供・支援

具体施策	◆質の高い文化芸術の提供	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術振興事業を多様な分野で開催し、質の高い文化芸術を提供します。</li> <li>・芸術普及活動を行い、公演者と地域住民・児童生徒等との交流を深めます。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)土岐市文化振興事業団に委託して、「くわばたりえ講演会」「堀ちえみ講演会」等の文化講演会、及び「オーケストラ・アンサンブル金沢」「篠笛奏者 佐藤和哉 篠笛コンサート with 妹尾 武」のコンサートを実施した。</li> <li>・セントラル愛知交響楽団管弦楽アンサンブルによるアウトリーチ公演を11月に泉中、肥田中で実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシック音楽等の芸術鑑賞事業の充実と鑑賞者の確保、市民のニーズに合わせた事業の展開</li> <li>・市民の新たな文化芸術活動を生み出す事業の展開。</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイズ・コロナ、アフター・コロナの状況下における事業の実施。</li> <li>・引き続き、多様な分野で芸術を鑑賞し、体験できる機会を提供する。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆文化芸術活動の支援	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化プラザを継続的に整備し、文化芸術活動の拠点としての機能を維持します。</li> <li>・美術展、音楽祭、文芸祭等を開催し、文化芸術発表の場を提供したり、顕彰したりします。</li> <li>・新庁舎に整備された土岐フォーラムや文化プラザを活用したイベントを実施します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に引き続き文化プラザ特定天井耐震改修その他工事、また、非常用直流電源装置交換工事、自動火災報知機受信機工事等を実施した。</li> <li>・文芸祭、美術展は実施することはできたが、音楽祭、文化団体連盟祭、プラスの集いは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化プラザ利用者の安全性・快適性を確保するための施設改修の計画的な実施。</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイズ・コロナ、アフター・コロナの状況下における事業の実施。</li> <li>・老朽化調査に基づく長寿命化のための維持工事を実施する。</li> <li>・引き続き、美術展、音楽祭、文芸祭文化団体連盟祭、プラスの集いを開催する。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切にし、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

#### 基本施策 3-2 文化財の保存・活用・保護の推進

具体施策	◆文化財の保存・活用の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体と連携して文化財の保存と活用を図り、市民の地域理解を促進します。</li> <li>・指定文化財の現状等の調査を行い、修復や環境整備を行います。</li> <li>・未指定文化財を含めた市内の文化財を総合的に把握するため、全ての文化財の調査を進めます。</li> <li>・郷土の歴史を体感できる場として、国史跡乙塚古墳や段尻巻古墳の整備を行います。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天然記念物白山神社のハナノキ及びヒトツバタゴ環境整備工事(委員会の開催12月)を実施した。</li> <li>・指定文化財の現状確認調査(土岐津町、肥田町ほか)を行った。</li> <li>・史跡乙塚古墳附段尻巻古墳第2期及び第3期整備工事(委員会の開催4、6、8、1月)を実施した。</li> <li>・元屋敷窯跡、妻木城址、暮雪庵の動画コンテンツを作成し、公開した。</li> <li>・史跡元屋敷陶器窯跡法面復旧工事を行った。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡、天然記念物の整備と活用。</li> <li>・未指定文化財を含めた市内文化財の総合的な調査と把握。</li> <li>・市内の指定文化財を紹介する「土岐市の文化財」の更新。</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天然記念物白山神社のハナノキ及びヒトツバタゴの環境整備工事を実施する。</li> <li>・史跡乙塚古墳附段尻巻古墳整備工事を実施する。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆埋蔵文化財保護の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な開発指導を行うために、遺跡地図を整備します。</li> <li>・埋蔵文化財の調査体制を維持し、埋蔵文化財の保護を推進します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護法第93条届出60件、第94条通知12件を受理し、適切な開発指導を行った。</li> <li>・埋蔵文化財発掘調査等の監理(妻木平遺跡)を行った。</li> <li>・開発等が計画された浅野館跡ほか市内各遺跡において、試掘確認調査及び立会調査を実施した。(試掘確認調査6ヶ所、立会調査5ヶ所)</li> <li>・(公財)土岐市文化振興事業団へ補助金を交付し、埋蔵文化財調査体制を維持した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細遺跡地図における埋蔵文化財包蔵地の範囲等の見直し</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、現在の埋蔵文化財調査体制を維持し、適切な保護を行っていく。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

基本施策	3-3 郷土の歴史・文化の継承
------	-----------------

具体施策	◆伝統文化の継承と振興	評価	B
項目	・伝統文化保存団体に対し補助金を交付するなどして、活動を支援します。		
令和3年度の実績	・流鏝馬行事保存会、打囃子保存会、妻木城址の会に補助金を交付し、久尻大坪地区史跡保存会へ文化財環境整備資材を支給した。		
課題(今後の方向)	＜課題＞ ・無形民俗文化財の後継者育成と伝承への対応。 ＜今後の方向＞ ・引き続き、伝統文化保存団体、文化財保護団体の支援を行っていく。		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆郷土の歴史に関する資料の収集・整理	評価	B
項目	・郷土の歴史に関する資料の収集・整理を行い、次の世代に継承します。		
令和3年度の実績	・古文書等の虫菌害対策に向け環境調査を行った。 ・古文書資料の読解を行う等、史料整理を実施し、資料集(20号)を刊行した。 ・駄知正村家文書等の市内に所在する古文書の目録を作成した。 ・図書館3階郷土資料室で郷土史調査相談窓口を開設(第2・第4水曜日)した。		
課題(今後の方向)	＜課題＞ ・古文書等を読解できる後継者の確保または育成 ＜今後の方向＞ ・引き続き、史料の収集と翻刻を行う。		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆美濃陶磁歴史館事業の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美濃焼の歴史や郷土の歴史・文化を学習する場の整備に向け、新施設の建設を検討します。</li> <li>・展覧会や講演会・講座の開催を通じ、美濃焼の歴史や郷土の歴史・文化に対する関心を高めます。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな施設(文化財保存活用拠点施設(仮))の実現に向けて、基本構想検討委員会を開催した。</li> <li>・展覧会の開催＝企画展「土岐市の古窯-妻木窯下古窯跡群-」収蔵品展「美濃桃山陶」(6月～9月) 特別展「小山富士夫と美濃-昭和の窯業界のあゆみとともに-」(9月～2月) 企画展「発掘調査報告展」重要文化財公開 元屋敷陶器窯跡出土品展 (2月～6月)</li> <li>・講演会の開催＝「小山富士夫と美濃」春日美海(美濃陶磁歴史館学芸員) 「戦後の美濃窯業-日根野作三・安藤知山との関わりを軸に」 鍋内愛美(美濃陶磁歴史館学芸員)</li> <li>・美濃陶磁歴史館のバーチャルミュージアムを構築し、公開した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保存活用拠点施設(仮)の整備</li> <li>・収蔵品の保管場所の確保と民俗資料等の整理</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土岐市駅北部における文化財を活用した観光やそのための施設のあり方を検討する。</li> <li>・文化財保存活用拠点施設(仮)の基本計画を作成する。</li> <li>・引き続き、美濃焼の魅力や郷土の歴史文化を紹介する展示や講演会を行う。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆やきもの文化の振興と情報発信	評価	-
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募による現代茶陶展を開催し、やきもの文化を広く情報発信します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	第14回現代茶陶展の公募、審査、図録作成等の準備		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における公募展のあり方の検討</li> <li>・応募者の確保と公募展のさらなる情報発信</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募展の開催方法を検討し、現代茶陶展を開催していく。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		



## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

基本施策 3-4 スポーツ活動の機会の充実			
具体施策	◆誰もが参加できる体験型イベントの実施	評価	-
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが参加できる軽スポーツ、レクリエーションの参加機会の充実を図ります。</li> <li>・スポーツフェスティバルを実施し、若年層から高齢層のスポーツ活動への参加を促します。</li> <li>・年齢や障がいの有無に関わらず、誰でもスポーツを楽しめるきっかけづくりに取り組みます。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねんりんピック、スポーツフェスティバルとも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<課題> 市民ニーズや各年齢層、障がい者の特性に応じたのイベントの開催 <今後の方向> 引き続き、市スポーツ協会、レクリエーション協会と連携してスポーツフェスティバル等の体験型イベントを開催する。		
担当課	文化スポーツ課		
具体施策	◆市民スポーツ大会・イベントの実施	評価	-
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スポーツ大会の充実を図り、「土岐市スポーツ協会」・各種種目協会の活性化に努めます。</li> <li>・「ロードレース大会」「一周駅伝大会」を継続して実施します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スポーツ大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため種目別競技を開催予定だったが、至らなかった。土岐市スポーツ協会の各種目協会に対しては強化費を支給して支援を行った。</li> <li>・「ロードレース大会」、「一周駅伝大会」は中止とした。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<課題> ・「ロードレース」「一周駅伝大会」への幅広い層からの参加を促す広報活動の強化 ・ウイズ・コロナ、アフター・コロナの状況でのスポーツイベントの開催のあり方の調査・研究 <今後の方向> ・引き続き、土岐市スポーツ協会と協力して市民スポーツ大会を開催する。 ・「ロードレース」「一周駅伝大会」も改善を行いながら引き続き、実施する。		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆生涯スポーツと健康づくりの推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツ推進委員会」と連携し、生涯スポーツ事業を推進します。</li> <li>・高齢層世代のコミュニティを形成し、健康づくりを促進します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツ推進事業として、ノルディックウォーキング教室、親子バランスボール教室を実施したが、親子スポンジ テニス教室と森林ウォーキングは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズを把握し、教室の参加者増加を図るため、市民運動実施率調査(アンケート)の実施・研究</li> <li>・ウイズ・コロナ、アフター・コロナの状況でのスポーツイベントの開催のあり方の調査・研究</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノルディックウォーキング教室は、SNSを利用した参加呼びかけを試み、参加者の増加に一定の成果が出ているので、今後も活用し、参加者の拡大に取り組んでいく。</li> <li>・毎回定員を超える親子バランスボール教室のような、運動する機会の低い子育て世代を対象とした親子参加型教室の開発に取り組む。</li> <li>・スポーツ指導員によるトレーニングルームでの支援を継続する。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆多様なスポーツ交流の推進	評価	-
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼津市とのスポーツ交流を継続して実施し、自主交流を促進します。</li> <li>・スポーツを通じた他地域との交流の拡大や地域の活性化を図ります。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月、10月のスポーツ本交流は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</li> <li>・6月の中学校スポーツ交流は中止</li> <li>・8月のスポーツ少年団交流は中止</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流種目の拡大と自主交流の推進</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度からは本交流を年1回とするほかは、引き続き中学生交流、スポーツ少年団交流を実施する。</li> <li>・各種目協会の自主交流を支援する。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		



## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

#### 基本施策 3-5 スポーツ団体の育成・活動支援

具体施策	◆スポーツ協会等の活動支援と連携強化	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東濃スポーツ大会」「県民スポーツ大会」の出場を支援し、競技力の向上を図ります。</li> <li>・スポーツ少年団の活動を支援し、青少年の体力向上を促進します。</li> <li>・全国大会等出場者などへのスポーツ顕彰を継続して行います。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東濃スポーツ大会」は種目別競技は開催されたが、「県民スポーツ大会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</li> <li>・市スポーツ協会、各種目協会、レクリエーション協会等の活動を支援した。</li> <li>・スポーツ少年団の活動を支援した。</li> <li>・全国大会等出場者などへのスポーツ顕彰を7件実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東濃スポーツ大会及び県民スポーツ大会での上位入賞</li> <li>・スポーツ少年団の団員増加と活動の活性化</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、市スポーツ協会と連携し、「東濃スポーツ大会」「県民スポーツ大会」の出場や、スポーツ少年団の活動を支援する。</li> <li>・全国大会出場者への顕彰を行う。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆スポーツリーダーの育成	評価	-
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体の指導者に対する研修を実施し、優れた指導者の育成を図ります。</li> <li>・スポーツ推進委員の指導者・アドバイザーとしてのレベルアップを図ります。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体指導者講習会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</li> <li>・スポーツ推進委員は定例会開催時の自主研修のほか、ときげんき体操を普及するための研修会を実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の資質と能力向上のための指導者研修会の内容の充実</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の質をさらに高めるために、研修会・研究大会(東濃・岐阜県・東海四県)に積極的に参加していくとともに、ジュニアスポーツ指導者の研修の回数や対象者を増やす。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

#### 基本施策 3-6 スポーツ施設の適切な整備と運営

具体施策	◆スポーツ施設の利用環境の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土岐市公共施設等総合管理計画に基づき、施設の統廃合も含め、安全・安心な施設運営のために、スポーツ施設の計画的な改修・整備を行います。</li> <li>・学校施設を開放し、スポーツを楽しめる場の提供を促進します。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動センター野球場法面復旧工事を完了した。</li> <li>・土岐市公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した肥田体育館を取り壊した。</li> <li>・スポーツ施設の安全性を確認するためのチェックリストを作成するとともに、月2回の定期点検を行い、不具合等があれば改修等を実施した。</li> <li>・学校開放使用団体に対する施設の適正利用を指導した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈課題〉</li> <li>・老朽化した施設も多く、大規模な改修等が必要。</li> <li>〈今後の方向〉</li> <li>・適宜、施設の改修や修繕等を実施し、利用の安全性、利便性を維持する。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆スポーツ施設受付の窓口サービスの充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の空き状況がホームページで確認できるよう改善を図ります。</li> </ul>		
令和3年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の予約システムを導入し、令和3年3月から供用を開始した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈課題〉</li> <li>・施設の使用料を納入するために利用者の来庁が必要。</li> <li>〈今後の方向〉</li> <li>・施設利用者に対してシステム利用を促すとともに、適宜、システムの改修を実施し、施設利用者の利便性向上を図る。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

## IV 教育費の決算

款項目	予算額 (円)	決算額 (円)	執行率 (%)
10 教育費	2,978,762,000	2,668,686,967	89.6
1 教育総務費	360,992,000	333,349,018	92.3
1 教育委員会費	4,635,000	4,353,111	93.9
2 事務局費	142,628,000	140,836,671	98.7
3 教育指導費	181,322,000	156,988,547	86.6
4 教育研究所費	32,407,000	31,170,689	96.2
2 小学校費	321,792,000	282,762,919	87.9
1 学校管理費	277,263,000	247,080,522	89.1
2 教育振興費	38,294,000	29,467,397	77.0
3 学校建設費	6,235,000	6,215,000	99.7
3 中学校費	293,504,000	191,137,587	65.1
1 学校管理費	182,844,000	153,776,527	84.1
2 教育振興費	39,614,000	33,071,060	83.5
3 学校建設費	71,046,000	4,290,000	6.0
4 幼稚園費	378,242,000	349,869,987	92.5
幼稚園費	378,242,000	349,869,987	92.5
5 社会教育費	1,093,242,000	1,013,596,973	92.7
1 社会教育総務費	52,955,000	46,609,827	88.0
2 文化プラザ費	362,798,000	359,167,070	99.0
3 公民館費	134,499,000	112,980,471	84.0
4 文化振興費	311,156,000	285,121,770	91.6
5 青少年育成費	109,952,000	97,805,260	89.0
6 美濃陶磁歴史館費	28,209,000	26,977,313	95.6
7 図書館費	93,673,000	84,935,262	90.7
6 保健体育費	470,990,000	439,228,483	93.3
1 保健体育総務費	54,317,137	40,237,902	74.1
2 市民体育館費	33,691,000	31,019,288	92.1
3 市営球場費	1,409,000	819,676	58.2
4 体育施設費	39,212,000	35,316,936	90.1
5 総合活動センター費	12,941,000	11,578,224	89.5
6 給食センター費	329,419,863	320,256,457	97.2
7 教育諸費	60,000,000	58,742,000	97.9
1 諸費	60,000,000	58,742,000	97.9

## R 4 土岐市教育委員会の点検及び評価について（総評）

岐阜聖徳学園大学 教授 玉置 崇

今年度も土岐市教育委員会作成の「教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（令和3年度実績）」並びに、関係資料の数々を検討させていただく機会を与えていただき、身の引き締まる思いである。

令和2年度から令和6年度までの5年間を対象期間とした「第2次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プラン」は、変化の激しい社会を豊かに生き、必要な力を身に付けて活躍できる社会人を育成していくために、土岐市の豊かな自然や伝統文化に誇りをもち、豊かな心と文化、人との絆の中から生まれる「人づくり」が基盤として策定されている。

これに基づいて行われた施策の執行状況等を記した報告書からは、主要な施策や事業の進捗状況を真摯に総括し、課題や今後の取り組みの在り方について審議を重ねて、成果を出しておられることがしっかり読み取ることができる。十分に市民への説明責任を果たすものである。

ここでは、土岐市教育の今後のますますの発展を祈念して、各基本施策の実績と課題から感じることを述べていきたい。

### 基本目標1 【学び合い】

#### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成する

##### ① 確かな学力の育成

具体施策「土岐市幼稚園・こども園・小・中学校教育の方針と重点」の具現においては、施策を具現化するために、「小学校と中学校とが中学校卒業時の願う姿」を共有しておられることがよい。中学校が15歳であるべき姿を描くだけでなく、小学校が送り出してからの3年後の姿を教育活動の視野に入れられていることは、とても重要なことであり、次年度以降もぜひ継続したい。

そのために、小中間の児童生徒の交流をはじめ、職員の交流や教育情報の相互理解を図り、9か年を通したきめ細やかな実効性ある指導を進めようとおられることも評価したい。

次年度は、この「きめ細やかな指導」の具体的な取組を報告書に示していただけるように願いたい。もちろん「きめ細やかな指導」の在り方は多様で一律に決められるものではない。しかし、実効性を高めようとするには、小・中学校教員それぞれが「きめ細やかな指導」の実際についてイメージを持っていることは欠かすことができない。「きめ細やかな指導」にこのように意識して取り組み、このようなエピソードが生まれたといった実例が提示されることは、報告書の精度をより高めるものである。

「具体施策 基礎・基本の確実な定着」においては、「土岐市スタンダード授業」を確立し、基礎・基本が確実に定着できるよう授業改善に取り組むことが示されている。とても重要なことである。スタンダード授業を明確にすることで、教員経験歴の違いによる授業の質の差を極力縮めようとする施策である。

そのために、学力向上推進委員会を中心に、土岐市スタンダード授業を確立・定着させ、授業改善がされていることを読み取ることができる。また、NRT（学習指導要領に準拠した標準学力検査）を実施し、エビデンスによる成果を明らかにしようとしていることも評価したい。

なお、GIGA スクール構想により、すべての児童生徒に一人一台タブレット端末が配られた。その活用も踏まえた上での「土岐市スタンダード授業」であることが望ましいことを踏まえ、スタンダード授業の在り方も毎年度ある程度の見直しは必要であると感じる。

## ② 多様な学びを支援する教育の充実

具体施策「キャリア教育の推進」において、「夢の教室」をこれまでの小学校5年生だけではなく、6年生まで広げ、オンラインで実施されたことは素晴らしいことである。6年生で実施されたことは、昨年度の中止を踏まえて貴重な学びの場を保障されたわけで、児童生徒のことを第一に考えての良策である。

なお、今後もオンラインによる「夢の教室」の実施を視野にいれておいてもよいだろう。オンラインにすることで、ゲストのフィールドがどこであろうと可能となるからである。また、一人一台端末を活用することで、様々なゲストを同時に招聘することも考えることができる。

具体施策「特別支援教育の推進」においては、「個別の指導計画、個別の教育支援計画」の重要性を踏まえ、その計画のもと、引き続き個々の状況を踏まえたきめ細やかな教育を進められておられることを評価したい。

「きめ細かな学校支援事業」の一環で、発達障がいの児童生徒に対して支援員の配置をされ、施策推進を図られたことは、該当児童生徒の実態に応じて成長をしっかりと支援するものである。保護者からは深く感謝される取組がされていると推測している。

具体施策「外国人児童生徒教育の推進」においては、初期指導教室の整備ならびに外国人児童生徒コーディネーターの配置をされ、外国人児童生徒ならびにその保護者への安心感を生むことに多大な効果を上げていると想像できる。

また、このことで学校の実態把握が進み、課題に対して的確な指導、助言がなされたようである。教育委員会と学校とのコミュニケーションによる連携があつてこそ、一人一人の外国人児童生徒に合わせた対応が可能となるであろう。

## ③ 豊かで健やかな児童生徒の育成

具体施策「人権教育の推進」「道徳教育の充実」とも、言うまでもないが教育の根幹をなす

ものである。

幼稚園・こども園および小中学校において、「びびきあいの日」に関わる継続的な取組、各学校における道徳教科の充実など、コロナ禍が続いている状況においても、引き続き教育の根幹をなすことにしっかり取り組んでいることを評価したい。

両施策の成果を示すために、すべての園及び学校からの実践の記録等からまとめた報告書を製本し発行されたことは、この施策の実効性を示すものであり、昨年度提案した立場としても嬉しいことである。この報告書は、市民からも大いに評価されるだろう。また、幼稚園・こども園および小・中学校間におけるさらなる共通理解を図り、新たな取組を生み出す情報源となるに違いない。

施策「学校図書館の充実」については、コロナ感染症対策のために図書本の貸出し手続きをすべてバーコード化されたことは賢明である。コロナ禍が去ったとしても継続させ、一人一台端末活用との連携も視野に入れられるとよい。

施策「体力づくりの充実」「健康教育の推進」においては、昨年度とは異なり、すべて中止とすることなく、感染対策を講じて実施されたことは評価したい。

コロナ禍が続く中で、児童生徒の心の不安定さを心配する声が全国各地で出されている。そのような傾向がある児童生徒をいち早く把握することも大切であるが、児童生徒自らが、教師に心の不安を躊躇せずに伝えることができる学校体制作りにも留意したい。

施策「食育の推進」について、栄養教諭の教室訪問が141クラスでなされたことは、素晴らしいことである。この教室訪問は、栄養教諭の専門性を高める上でも有効な施策といえる。また、担任及び教科担任と連携した食に関する指導が71回も実施されたことも、この施策を大いに推進させたものと捉えることができる。家庭の食育マイスターの献立提出率が90%であったのも、これまでの継続的な取組の成果の一つである。

「安全で確実なアレルギー対応食の提供」については、アレルギー対応食の提供が、給食実施日202日の中で141日に及んでいる。まさに、給食における安全確保を第一に考え、実施された関係者の尽力の結果を表すもので、施策の確実な実施（A評価）を物語る数値である。

#### ④ 「教職員の資質・向上」について

「サマーセミナー」及び「教職員パワーアップ講座」は、コロナ禍の中、感染症対策を講じ参加型及びオンラインで実施された。学力向上推進委員会では、土岐市スタンダード授業にかかわって新しい生活様式における授業改善の力点を検討し、「導入場面や課題提示の工夫改善」に重点を置いた授業が市内全小中学校で実施された。広報誌「教育とき」は、幼稚園・小・中学校職員、教育関係機関に2ヶ月に一度配付された。各校の教育実践や研究活動等が様々な機会を通し広く紹介され、情報発信と共有が確実になされている。これら教職員の資質・能力の向上を図る積極的な取り組みにより、教職員の学びを促し、教育実践力を着実に高めている。

教職員の働き方についての意識を改革し、働きがいのある職場づくりを推進することを通して、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう教職員一人一人のタイムマネジメント能力の向

上に努める必要がある。各校で管理職を中心に働き方改革を推進し、退校時間を19時とし、退校時間を過ぎるときには、事前に申請を出すこととした。また、時間外在校等時間が月45時間を超えた場合は、管理職との面談のもと、事後検証を行った。職員一人一人が勤務時間を意識するようになり、時間外在校等時間が月45時間以上の職員の割合が小・中学校ともに20パーセント以下になったことは大いに評価できる。教職員の負担を軽減するため、業務改善を図るとともにスクールサポートスタッフや学習指導員の効果的な活用を今後さらに期待したい。

#### ⑤ 「教育環境の整備・充実」について

児童生徒が安心して学習や生活を行うことのできる施設環境を確保し、教育内容・方法の多様化へ対応するための施設機能を備えることが必要であり、「教育環境の整備・充実」は行政として極めて重要な課題である。

貴市においては、安全・安心な教育と体制の整備・充実を図るために、「不登校の未然防止と迅速で組織的な対応」「いじめ等の問題行動の未然防止と早期発見・早期対応の徹底」「教育相談体制の充実」「学校施設の整備・充実」等を基本施策として掲げ、積極的に推進されている。

各校において、児童生徒に寄り添い、スクールカウンセラー等や児童生徒と関わる関係諸機関との連携を常に図りながら、個々の実情に適した支援に努めていることは大いに評価できる。欠席が長期化している児童生徒に対する家庭への支援や、不登校児童生徒や不適応児童生徒に対する学習支援の在り方について具体的な取組を期待したい。

コロナ禍が続く中、昨年度小・中学校の児童生徒に一人一台のタブレット型端末を導入したことを受け、そのさらなる有効活用を図るために授業支援ソフト「ロイノート」を導入したり、全普通教室にプロジェクター又は大型テレビを導入したりした。さらに土岐市 ICT 企画委員会および推進連絡会を年間7回開催し、より児童生徒の興味・関心を高め、分かりやすい授業の実現を目指すことができた。タブレット等の ICT を活用した教育の推進、情報活用能力の伸張を図るために必要な機器や機材の導入・整備を続けていくことにより、さらなる教育環境の充実を期待したい。

地域とともにある学校づくりを推進するために、市内全小・中学校に学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクール化が図られた。年に2～3回の学校運営協議会が実施され、学校を支援する活動が増えてきている。家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進を今後とも大切にしていきたい。

貴市では、幼児の教育環境の充実に力を入れており、すべての公立幼稚園で3～5歳児を受け入れる体制を整え、認定こども園の整備を市全体で段階的に進めていることは大いに評価できる。泉地区における認定こども園の令和5年度開園を目指して、幼児教育のニーズに応える施設整備が進められることを期待したい。



## 基本目標 2 【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

近年、家庭における子ども虐待や保護者の社会的孤立等の課題が顕在化するなか、子どもの最善の利益の保障とともに、子育て世代が安心して妊娠・出産・子育てができるような地域全体で環境づくりをすることが急務となっている。そのために、地域、行政が一体となって、切れ目のない支援を行うことが強く求められている。

しかし、ここ数年の新型コロナウイルス感染症流行により、外出の自粛や子育て支援施設及びサービスが縮小や休止を余儀なくされる等、適切な支援の推進には厳しい状況が続いている。子育て家庭と地域社会の接点が途切れ、悩みを抱えている保護者や虐待等によって支援を要する子育て家庭の存在が明らかになりづらく、適切な支援が困難になったことは否めない。こうしたストレスを抱えやすい状況下においては、子育て家庭に対する支援の重要性は、より一層高まっていると言える。

そのような状況のなかで、貴市の第2次教育振興計画「夢・絆プラン」においては、基本目標2【支え合い】として、7つの基本施策で、コロナ禍における様々な問題等に対応すべく、意図的、継続的に施策の展開を図ってきている。施策の柱立てや基本施策・具体施策は的確であり、コロナ禍での経験や知見を生かし、より個別の状況に適した、更なる充実に期待したいところである。

基本施策2-1『家庭教育を学ぶ機会の充実』では、具体施策として3歳児までの子どもをもつ親を対象とした「あすなる家庭通信」の発送とHPへの掲載など、情報発信に努め、子育て家庭の支援を継続的に行っている点は大いに評価できるものである。今後は、オンデマンドの乳幼児学級の開催など、家庭にいても学ぶ機会を得られるような施策の検討も期待したい。

基本施策2-3『青少年の健全育成の推進』では、コロナ禍であり、活動が制限される中、ジュニアリーダー研修会や成人式の開催など、その年代に限られた貴重な機会を大切にして、将来に向けた資質や能力を育成しようとする姿勢は評価できるものである。地域の各団体との研修会をZoomで開催したことは今後の活動展開の参考としたい。

基本施策2-4『児童の安全・安心な居場所となる放課後教室の充実』では、令和4年度から延長利用制度の開始に向けた条例化など、感染症対策も念頭にいれながら、児童の安全・安心な居場所づくりの拡充の取組は敬意を表したい。また、異年齢交流や豊かな体験学習の場も小・中学校時代に児童生徒が体験すべき貴重な場として、今年度も展開されているので、益々の活動の充実を期待したい。

基本施策2-5『公民館等を活用した生涯学習の推進』では市民大学講座の実施を積極的に行い、生涯学習の場を大切に取り組んだ点や市民会館を無料開放し、児童の学習の場の提供に努められたことは評価できるものである。

基本施策2-7『図書館を活用した生涯学習の充実』については、図書館や本に親しむこ

とを第一歩として図書館利用の促進にあたり、リサイクル市、浴衣、おもしろ本大賞等の積極的な開催により、図書館の来館者や貸出が伸びたことは大いに評価したい。

学び続ける姿勢、学びに向かう姿勢の根底として、本に親しみ、価値を高めていくサービスの充実に大いに期待するものである。

基本目標2にある誰もが学び続け、活躍できる【支え合い】の推進は、新型コロナウイルス感染症が流行している中であるからこそ、大切である。そのためには、目的に立ち返り、今年度の実践もあったようにホームページの活用やオンデマンド研修、活動自体の変更等、柔軟な対応をとることは、大変価値がある取組であり、今後も積極的に推進していくことを期待する。生涯学習の中でも、その年代、その時期にしか学べないこと、必要とされることがあり、今一度その観点から、全ての人の健全な成長に大切なことを吟味し、個別の状況に応じた情報提供をするための余念のない取組を今後も期待したい。

### 基本目標3 【いきがい】

ふるさとを大切にし、生きる喜びを感じる

貴市教育委員会のこれまでの「夢・絆プラン」では、大項目2「教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進」の中に「③文化芸術活動の推進④スポーツの推進」とされていた項目が、第二次基本計画では、文化スポーツ課ご担当の分野の「基本目標3『いきがい』」として掲げられ、独立した取組になった。文化芸術とスポーツが「いきがい」としてより焦点化され、明確にされている。貴市が「いきがい」をどのように捉え、どのような取組を進めて目標を達成していくのかが分かり易い。老若男女、年代を問わず多くの市民が「いきがい」を求めているのは当然であり、行政の取組次第で市民それぞれの生き方が変わってくると言っても過言ではない。特に、児童生徒に対して様々な分野の文化芸術とスポーツへ取り組む機会を与えていくことは、若い世代の「いきがい」をさらに大きく広げていくことに繋がると思われる。今後の展開にますます期待が膨らむ。

しかしながら、人を集めて実施されることで成立する企画が多く、屋内で実施されることも多い文化芸術については、コロナ禍のため大きく打撃を受けた分野のひとつであることは明白である。せっかく計画され、準備を進められながら多くの行事や企画を「中止」という文言で実績を表記しなければならず、評価を下げざるを得なかったのではないかと思うと大変残念である。その一方、ウィズコロナ状況でのスポーツイベント開催のあり方を調査・研究に努め、「ノルディックウォーキング教室」では、SNSを利用した参加の呼びかけにより参加者の増加に一定の増加が出ているなど、現場で目標達成に奮闘されているご担当の方々の苦悩が伝わってくる。

一方、動画配信などにみられるホームページの充実は、コロナ禍の中においても積極的に取り組まれた成果であり、市内に限らずより多くの人々に情報発信がされていることは大変

価値あることだと評価したい。文化、歴史、スポーツ等、様々な分野の動画が「土岐市公式YouTube」として配信されている。昨年度は、元屋敷窯跡、妻木城址、暮雪庵がアップロードされた。また、美濃陶磁歴史館のバーチャルミュージアムを構築され、公開されている。良質な映像がふんだんに使われていて見応えがある。歴史好き、陶芸ファンの心を掴めるものである。スポーツ分野の「ノルディックウォーキング」や「インターバル速歩」等、「ときげんきプロジェクト」などもホームページにバナーを載せるなど、同様な掲載方法をとることで閲覧者も増え、より多くの関心を高めることが出来ると思われる。

貴市におかれてはこれまでも高い情報発信力をもって様々な情報提供を進められている。これらの取組はコロナ禍の中で特に有効な手段であると考えます。今後は、発信しようとする情報を誰に向けるのか、どうしたら受け取る側にできるだけ分かり易い方法で伝えることが出来るのかを検討され、より多くの市民に「いきがい」を持ってもらえることが出来るのかをさらに追求されることを望む。

評価報告書にもあるように、今後ともウィズコロナの状況下でどのような事業展開が可能なのかを検討していくことが重要課題であると思われる。大変な状況が続くが、市民の大きな期待に応えていただければと思う。

教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書  
(令和3年度実績)

発行日／令和4年9月

編集発行／土岐市教育委員会 教育総務課

〒509-5192

岐阜県土岐市土岐津町土岐口2101番地

電話番号：0572-54-1111（代表）

E-mail：edu@city.toki.lg.jp